

計画の名称	姫路市における循環のみち実現（３）													
計画の期間	令和０２年度　～　令和０６年度（５年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	姫路市													
計画の目標	下水道の整備を推進し、安全・安心、快適な暮らしを実現するとともに、良好な水環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		1,200	A	1,190	B	0	C	10	D	0	効果促進事業費の割合 C / （Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0.83	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	下水道処理人口普及率を92.2%（H30）から93.0%（R6）に増加させる。			
	下水道処理人口普及率	922（×0.1%）	925（×0.1%）	930（×0.1%）
	下水道を利用できる人口（人）／総人口（536,192人　H30年度末）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	管渠（ 污水）	新設	管渠新設事業（中部処理 区他）	分流管新設 200～600・MP設 備新設・増設	姫路市						890		-	
	A07-002	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	終末処 理場	新設	処理場新設・増設事業（ 中部処理区他）	終末処理場・前処理場 新設 ・増設	姫路市						200		-	
	A07-003	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	ポンプ 場	新設	ポンプ場新設・増設事業 （中部処理区他）	ポンプ場 新設・増設	姫路市						100		-	
												小計						1,190		
											合計						1,190			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	姫路市	間接	個人	-	-	被保護世帯水洗化助成事業	水洗化工事 10件/年	姫路市						10		-
		被保護世帯に水洗化を促し水洗化率向上を図り、健全な都市活動を確保することができる。																	
											小計						10		
											合計						10		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	R06
配分額 (a)	55	52	60	177	32
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	55	52	60	177	32
前年度からの繰越額 (d)	0	16	9	44	24
支払済額 (e)	39	59	25	197	39
翌年度繰越額 (f)	16	9	44	24	17
うち未契約繰越額(g)	0	1	2	1	2
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	1.47	2.89	0.45	3.57
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 姫路市における循環のみち実現（３）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 １）上位計画（流総計画、都市計画、公害防止計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 ２）下水道の諸計画（流域下水道事業計画、公共下水道事業計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 ３）関連する諸計画（総合計画、生活排水処理計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 １）地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 ２）必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性 １）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 １）指標と数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 １）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 ２）目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 １）十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 ２）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 １）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 ２）関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 １）事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 ２）計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

(参考図面)

